

平成27年度農村振興・環境保全優良活動 知事賞受賞団体の紹介

ごい 五位集落（高岡市）

首都圏からの移住希望者を迎え入れ、定住した女性が営農や地域活動で活躍している。

耕作放棄地の発生防止に向けて「安納芋」栽培と、製菓専門学校や企業との連携によるスイーツ、ジェラートの開発に取り組み、地域の収穫祭などで販売し好評を博している。

山間地の豊かな環境で生産された米や特産物は、産地の差別化のため「寿五位(すっごい)」の商標登録によりブランド化を図り販売している。



製菓専門学校の学生による安納芋の収穫体験

なかお 中尾環境保全会（氷見市）

集落内の担い手が減少する中、農地維持・農村景観の向上を目的に保全会が設立され、水路の補修などの農業施設の保全・整備や、雑草シートを活用した雑草対策及び景観形成、児童会による遊休農地でのソバの作付けのほか、イノシシによる農作物被害防止のため集落の山際に侵入防止柵を設置するなどの活動を行っている。

これらの活動を契機として地域の農地の8割をカバーする営農組合が設立された。



水路の補修作業

ふくひら 福平開拓集落（黒部市）

標高約400メートルに位置する、市内で最も奥深い山村の開拓地において、近隣集落から通勤耕作している。元住民4人で集落営農組合を設立し、農地やため池、水路などの保全とコメやソバ、野菜などの生産に積極的に取り組んでいる。また、地元JAが主催する農林産物品評会では、生産された玄米が一等賞及び市長賞を受賞している。



市内で最も奥深い山村の営農

やすかわ

安川地区環境保全推進協議会(砺波市)

農家よりも非農家が圧倒的に多い集落で、「守ろう自然、広げよう環境意識」をスローガンに掲げて活動し、住民のコミュニケーションを図っている。

水路の軽微な補修や農業用施設の長寿命化対策、花壇の整備、地元の子も達を対象としたホテルの住む環境づくりや生き物調査、学習会の開催のほか、広報誌「安川環境保全だより」を発行して諸活動の普及・啓蒙に努めている。



環境学習会

とが

利賀百姓塾(南砺市)

首都圏の大学生や都市住民を取り込んだ農村体験、交流活動を実践している。大学生との交流は、充実した活動になっており、卒業後社会人になっても交流が続いている。

有機無農薬の酒米生産に取り組み、また、南砺市の濁酒(どぶろく)特区認定を機に濁酒「まごたりん」の製造や加工品(プリン)の開発、道の駅への販売など、地域活性化に繋がる活動を展開している。



大学生の農村体験活動

つかごし

塚越環境保全推進委員会(射水市)

射水市の特産品であるタケノコを栽培している地区であり、生産農家の高齢化が進む中、安定生産のため、竹林の保全・荒廃防止に営農組合とともに取り組んでいる。

水路の泥上げなど農業用施設の維持管理や、雑草対策として児童クラブと連携して景観植物の植栽による景観形成に取り組むほか、農業・農村の持つ多面的機能の広報を発行して諸活動の普及・啓蒙を行い、特色ある竹林の里の景観保全に努めている。



集落ぐるみの竹林伐採作業